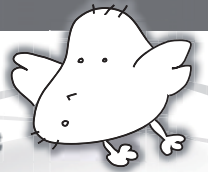




ぬぷぼん



寒さの中にも春の足音が..... みなさんお元気ですか？

今年の干支はなんでしょう??



① 獅子



② とり



③ ねずみ
(とんちゃん。しょうちゃん)



④ うさぎ

答え：2番 協力：津原さん家族（うさぎ・ねずみ）

- じゅぷ学生研修会報告 ●「にやりほっと」の薦め
- シェアハウス ポッシュの紹介 ●当事者の視点から：第7回
- ゆるがせ通信 ●さちこがいく！ 第8回
- ふじたん家のあれこれ ●じゅぷ川「夢」
- 新スタッフ紹介 ●あとがき



じゅぶ全体研修会報告

じゅぶでは、たくさんの学生ヘルパーさんが、活動してくれています。

活動するにあたって、多くの経験をしてもらいたいと感じています。

そんな中で開催されている、学生さん主体の研修会。

実行委員が毎月1回、事務所に集まり、「こんなこと知ってみたい！あんなことやってみたい！」という意見を中心に研修会のテーマを決めています。

今回のテーマは、障害者の方の結婚・恋愛はどうなってるの？普段ヘルパーに対してなにか思っていることはないの？という視点から研修を組み立てました。

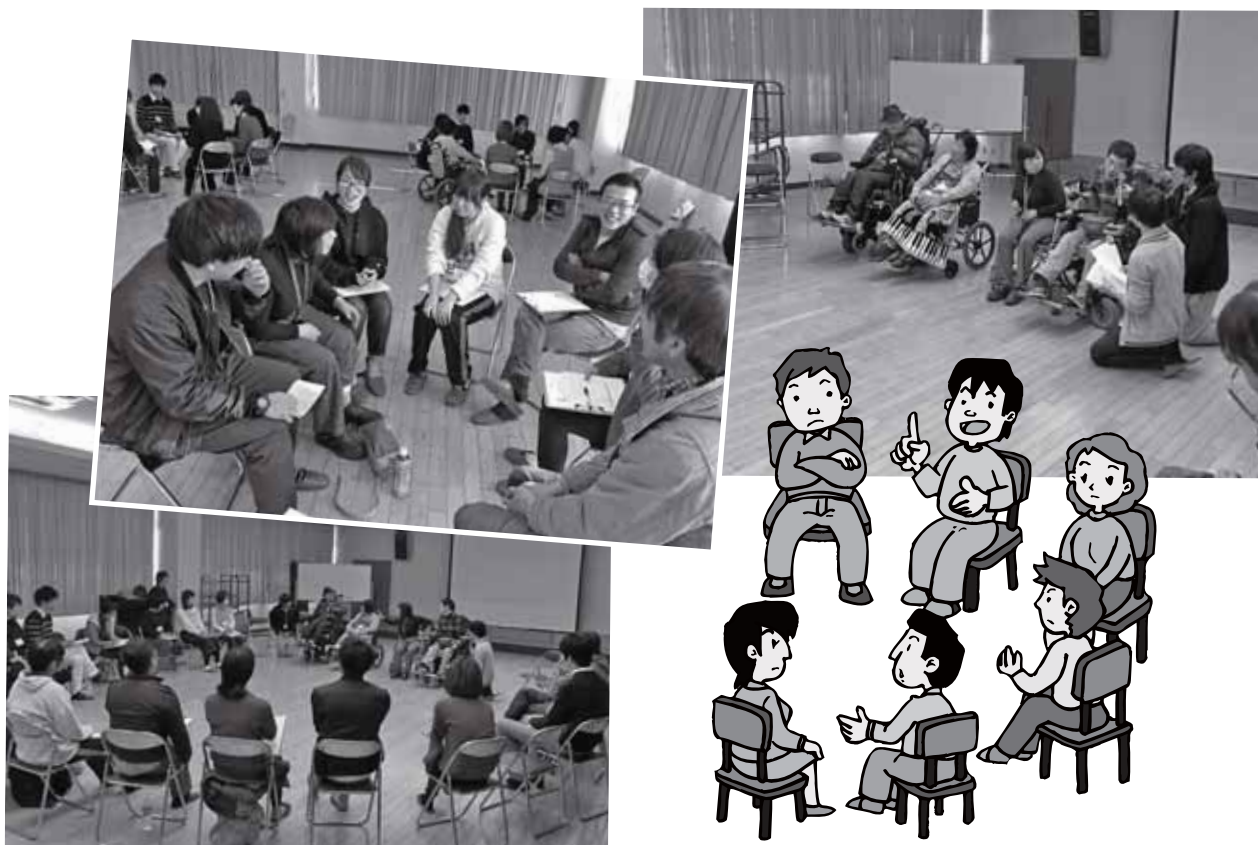
当日、当事者の方々に来て頂き、

前半：結婚・恋愛について 後半：ヘルパーに対して思うこと
という形式でお話を聞かせて頂きました。

研修タイトル：「普段聞けないけど、気になっていること。結婚？恋愛？生活？」

日時：12月18日(日) 13:00~16:30

場所：瀬田北市民センター



以下、全体研修会学生実行委員のみなさんの感想です。 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

佐久間くん

今回の結婚や恋愛についての研修会で当事者の方の話を聞いて障害というものが壁となり結婚をしたくてもできない方がいるのだと知りました。この他にも大学の授業などでは、聞くことのできない当事者の方の生の声を聞くことができ、とても勉強になりました。また、どの方々も言っていた、ヘルパーと利用者という関係であるだけでなく、人と人との関係であるという言葉が印象に残りました。私は、実行委員として、企画から参加させていただきましたが、話し合いのなかで、今まで考えたこともなかったようなことや、新たな気づきなどが多くあり、個人的にも実りのある、実行委員、研修会でした。今回の研修会で学んだことを今後のヘルプに行かしていきたいと思います。



浦上くん

実行委員を担当する中で、改めて多くのことを学ぶことができました。「恋愛・結婚」「ヘルパーに思うこと」という研修テーマが決まっていくなかで、（どちらも大切）と思う一方で、自分は今まで大切にきてきたらうかと、ふと思いました。月日が経ち、関係性が築かれていく中で、どこか曖昧にしていけないかと、特に「ヘルパーに思うこと」のテーマで考えさせられました。研修に向けて話し合いが進んでいくなかで、自身のヘルプのあり方、そしてヘルパーとは何なのかと、立ち止まって考えさせられる機会となりました。人対人の関係なので、きっと答えられないと思います。しかし、時に立ち止まり、考えることで、何か気付けることがあるように思えました。慣れたからこそ築けたことがある一方で、見過ごしてしまったものがあることを気付くことができ、本当に良い機会となりました。

末信さん

学生研修ということで、学生が基本となって研修内容を考えることから研修の発表会を行いました。月に1回のミーティングから本番の準備まで本当に充実した研修でした。

わたしたちの興味関心から始まった研修で、普段一対一ではなかなか聞けない、だけど聞きたい！と思うことを研修テーマにできた上に、それを多くの方と共有できたことを嬉しく思いました。この研修でしたことを今後のヘルプにどう活かしていくか、また、生活にどう活かしてけるか、まだ分かりませんが、折角なのでいい方向へ活かしていけるといいなと思います。

このような素敵な企画に誘っていただき、参加させて頂けたことに感謝しています。また、一緒にこの研修を作ってくれた学生のみなさんにもとても感謝しています。ありがとうございました。

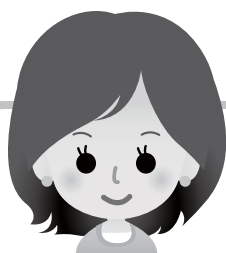


石口くん

初め実行委員どうしでなにをテーマに研修会を構成するか話し合い、日程や時間、場所などを月一で集まり決めていきました。最初の頃はこの感じで大丈夫なのかと不安でしたが、徐々に内容もかたまり、良い状態で研修会を行うことができました。



研修会では、当事者の結婚について色々とお話を聞きました。身体が不自由であるために、親に結婚を反対される方がおられ、私達とはまた違った結婚に対する壁があることに気付かされました。また、ヘルパーに思うことを各当事者からたくさんの意見をいただき、これから自分がヘルパーをする上で役立てていきたいなと思いました。



今井さん

今回、実行委員として研修に参加しました。普段のヘルプで他のヘルパーさんやじゅぶの職員さんと話す機会がなかったのでこの研修を通してたくさん関わることができてとても良い経験になりました。研修会では自分がヘルパーをしていて気になっていること不安に思っていることを他のヘルパーさんも同じように考えていてその気持ちをお互いに共有できました。また利用者さんの実際の声でヘルパーに対して思っていることを聞いたことは私にとっては貴重な経験で得るものがとても多かったです。研修当日バタバタして至らない点も多かったと思いますが、参加してくださった皆さんが積極的に取り組んでくださったおかげでとても濃い研修会になりました。これからヘルパー同士の交流する場が増えていったらいいなと感じました。

中島くん

障がいをもっているからといって暗く生きる必要はないんだと感じました。障がいをもっているでも結婚や仕事ができ、普通に暮らしている方がいることに驚きました。こうやって自分の中で障がい者に対する思いが少しずつ変わってきているので、次の研修にもたくさんの方がきてほしいなと感じました。





「にやりほっと」の薦め



中下 和生

2016年6月6日付、朝日新聞の天声人語欄に、こんな記事を見つけました。

天声人語

「ヒヤリハット」は、事故につながりかねない出来事を指す言葉だ。引き継ぎに書いて同僚に注意を促そうと、職場で心がけている方も多いだろう。東京都の有料老人ホーム「ライフ＆シニアハウス井草」もそうだ。でもここにはもう一つ、「にやりほっと」がある▼介護していて思わず笑ってしまう、心がなごむ。そんなお年寄りの言葉や振る舞いを職員がカードに残している。ひな人形を前に「これを見るところれしくなるなんて、私もまだまだ女の子だねえ」との言葉がある。「食欲がない。物欲ならあるのだけ」とは、食事前の冗談である▼昔のあだ名を覚えてもらった、夫の思い出話をしてくれた、なども。「ヒヤリハットだけではマイナス面ばかりが見えがち。プラス面をみんなで共有しようとしています」と、職員金子彩香さん(25)は言う▼小さな子のいる家庭は、あらゆる瞬間が「にやりほっと」かもしれない。甘えるしぐさに目を細め、おませな言葉に驚く。忘れないよう書き留めている方もおられよう▼同僚でも夫婦や親子でも、一緒に時間を過ごせば心がなごむような出来事は訪れる。でも忙しかったり、関係がよくなかったりして微笑み合う余裕を失うこともある。距離がもつと近くなる機会なのに▼この老人ホームでは、にやりほっとの記録から「へえ、こんなことあったんですか」と話が弾むことが多いそうだ。一緒にいる空間がその分温かくなる。「介護者」と「入居者」という立場を少しだけ忘れて。

2016・5・6
購読・配達◇お申し込み0120-33-0843 ◇お尋ね03-5540-7715(7~21時) 紙面関連◇質問・ご意見◆6日から0570-05-7616(平日9~21時、土曜9~18時)

僕はこの記事を読んで、すっと腑に落ちた気がしました。

「介護の仕事をしています。」などと言うと、たいいてい『大変ですね』と言ってもらいます。「大変なことばかりじゃないですよ。楽しいこともたくさんあります。例えば…」、この「例えば」の後がなかなかうまく続けられません。「映画を見に行ったり、カラオケに行ったり、コンサートなどにも行ったりする」、なんて言うこともあります。ただ、(そういうことではないねんな〜)という思いはどこかにあります。また、『大変ですね』の言葉の後に、『トイレのお世話とかね〜』なんてことも言われがちです。「いやいや、そんなの全然大変じゃないですよ〜。」と言いながらも、あまり伝わってはいない気がします。ヘルパーという仕事の楽しさをうまく伝えられない自分にも、おそらくは、その大変さを本当には理解してもらえていない相手にも、もやもやした気持ちが残ります。

狭い空間で、一対一で対峙している時、その部屋に流れる空気や雰囲気冷たいものである時、おそらくお互いにすごく疲れます。僕から見ると、その空間は相手のプライベートな場所であることが多く、そこを冷たい空気ですら満たしてしまった時に、「ヒヤリ」としたり「ハット」としたりさせられます。ヒヤリハットの事例につながるようなことも、そんな時に多いように感じます。どちらが先かは別として。逆に、それが暖かいものを感じる時や、相手の言葉で「にやり」とさせられたり、僕の言葉で相手が「にやり」としたり、そんな時に僕は「ほっと」するのです。

知的障害がある人と外出している時、どうしても僕の思うようにならなくて、少し苛立っているようなとき、「中下君何怒ってんのよ、そんなヨモギ色の服着てよ。」そう言われたことで、笑ってしまい、楽しくなったことがあります。

身体障害がある人の支援を、夏にしていて、暑くてしんどかった時に、「(汗だくの僕を見て) さんだけ汗かけるの幸せなことやで。」と言われ、その一言で楽になったことがあります。

そんな時の空気や雰囲気を、中々文字では表現できませんが、そういう瞬間が、にやりほっとする瞬間が、僕が思う介護のしごとの魅力の一つです。

皆さんにもそんな時はありませんか? そんなことを思い起こしてみると、少し楽しい気持ちなれます。お勧めです。また、良ければ「にやりほっと」したときのことを教えてもらえませんか? よろしく願います。

シェアハウス

を紹介しま〜す！

ポッシュ

前号でオープンをお知らせしたシェアハウス『ポッシュ』ですが、今回はその室内を少しみなさんに紹介させていただきます。



お風呂

風呂入り口にのれん。



脱衣室。
ベットもあります。



大きな浴槽に
リフトもあります。



ポッシュはJR瀬田駅から、約400mの線路沿いにある4階建てマンションの一階にあります。

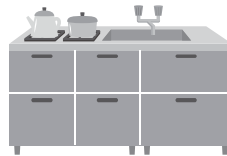
玄関周り

段差ありません。



玄関から見た室内

共用LDK



居室



少しずつタイプの違う居室が5室あります。
各部屋にミニキッチンも付いています。

洗濯室&物置



トイレ



広いのと狭いの
2ヶ所あります。

入居者インタビュー



昨年4月から始まった、シェアハウス“ポッシュ”。約9ヶ月経って、住まれているこうじさんとまゆみさんにお話をうかがってみました。こうじさんは、以前はマンションでの一人暮らし、まゆみさんは、実家から4月末にポッシュに引越してこられました。一人暮らしでもない、実家暮らしでもない“シェアハウス暮らし”、どんな感じで生活されているのでしょうか？

ポッシュに住んで、どうですか？

こうじさん 「以前より（ヘルパーと）1対1ではなく、他に人（まゆみさん、まゆみさんのヘルパー）がいるので安心できる」

まゆみさん 「自分でやる事が増えて楽しい。自分でみそ汁の味を決められる」

ポッシュと家の違いは？

こうじさん 「友人が呼びやすくなった（日中通われているところの友人と集まったりしている）」

まゆみさん 「親との関係が少し離れてちょうど良くなった（ヘルプの時間数の関係で、週の何日かは実家で過ごす）」

人と一緒に住むのはどうですか？

こうじさん 「ポッシュは共有のリビングと自分の部屋があるので、ちょうどいい距離感が保てる」

まゆみさん 「いろんなヘルパーさんに自分の事を分かってもらうのは大変（実家より、ヘルパーが増えた）」

一人暮らしの時よりもほどよい距離感で周りの人たち、ヘルパーさんたちとの関係を作っておられる、こうじさん。大変なこともあるようですが、ヘルプを使っての新しい生活を楽しまれている、まゆみさん。お二人は日中通われているところも一緒ということもあり、共通の友人を呼んでお食事会をされたりして、“シェアハウス暮らし”を楽しまれているようです。



今回の当事者の視点は、中西香帆さんにお願ひしました。

中西さんは、特定非営利活動法人BRAH=art.（ブラフアート）さんが昨年より始められたシェアハウスで生活されています。シェアハウスでの暮らしぶりや現在の気持ちを投稿してもらいました。

シェアハウスでの一人暮らしをはじめて

中西 香帆

私は、軽度の知的障病、広汎性発達障病、自閉症スペクトラムという障病を持っています。そんな私でも一人暮らしが出来るという事を伝えたく、今回ぬぷぼんの掲載をする事にしました。

私の月曜日から金曜日までの5日間の過ごし方は、5日間、くれおカレッジという大学へ行って、勉強をしています。今私は3回生なので、実習や軽作業の授業が多いです。

夕方は、月・水・金とブラフアートへ行って、ブラフアートのスタッフの方と一緒に夜ご飯を作ったり、おしゃべりをしたりします。

火曜日は、女性ヘルパーさんが空いている日に来てもらって、掃除と家事援助をお願いしています。

木曜日は、じゅぷさんに、家事援助だけどうしてもお願いして、第4木曜日だけお願いする事が出来、一緒にご飯を作っています。



ヘルパーさんと一緒に。
みそ汁の作り方を教えてもらいました。

火曜日と木曜日のヘルパーが来ない日は、自分でご飯を作っています。この間は、初めて一人でからあげを作りました。後はクックパットをお願いして作ったりしています。

第2第4木曜日は、ばばるでとよかともスポーツへ行っています。

土日は実家へ帰って買い物へ行ったり、ブラフアートやよかともがあれば、その活動へ参加

しています。

ブラフアートでは、第2第4土曜にカラオケやショッピングモール、夏にはバーベキューをしたりします。

よかともでは、料理教室でご飯を作ったり、クリスマス会やキャンプ、色んな事をしてきて楽しいです。



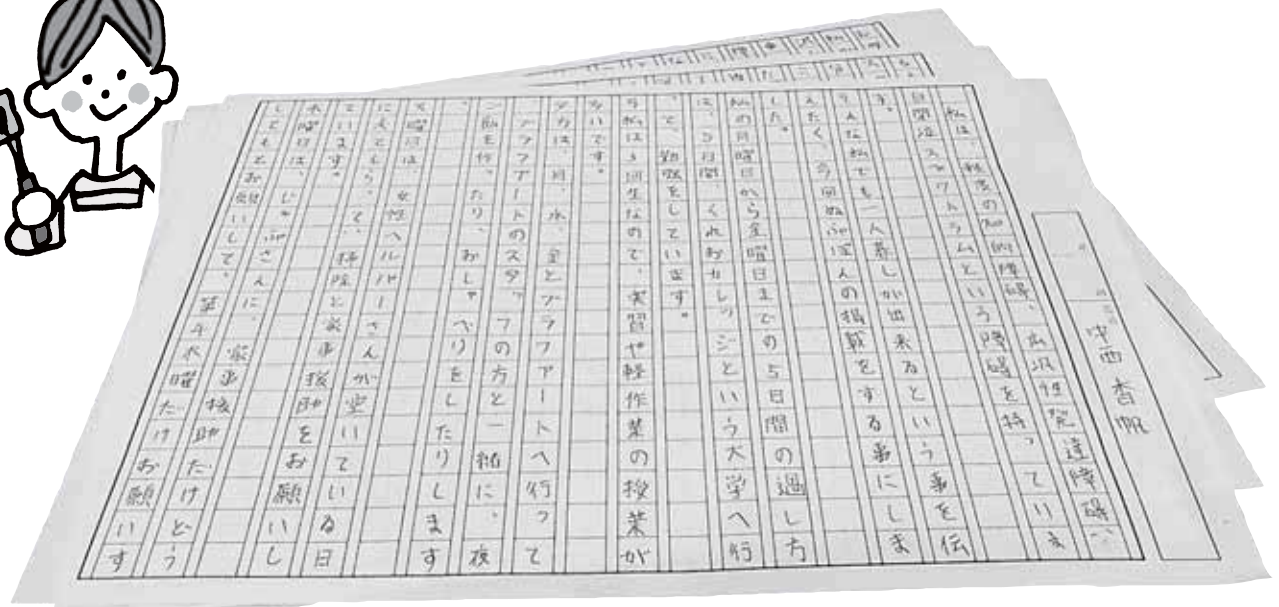
豚肉に片栗粉をまぶして、カリカリに焼きました。

一緒に話しをして楽しむ人達がいる、私は凄く幸せです。

お母さんとお父さんにも感謝しています。私が健常者で生まれて来ていたら、今までに沢山の障害を持っている人達の事を余り知る事が無かったと思います。

障害を持って生まれたからこそ、沢山人達に出会う事が出来たと感じています。なので私は、障害を持って生まれて来た事に、とても感謝しています。

これからも、この出会いを大切に、今の自分を生きて行こうと思います。



「自動運転」は交通弱者の光となるのか？

阿部正之

自動運転車とは、「ドライバーがハンドルやアクセルなどの操作をしなくても安全に走行できる自動車」。この実現をめざして自動車メーカー、IT系企業等がしのぎを削っています。

2016年2月末、神奈川県藤沢市の公道で実証実験がスタートした「ロボットタクシー」。内容は、公募による近隣住民10組が参加し、パソコンかスマートフォンでの配車予約から、実験車両による住居とイオン藤沢店間の実験送迎を体験するというもの。

安全のために、ドライバーとオペレーターが乗車したうえで自動運転走行を行った。また、運行に対する社会的受容性を確認するため、ユーザーの生の声も収集。サービスの現実化に向けて、着実に新たなステージへと向かっている。

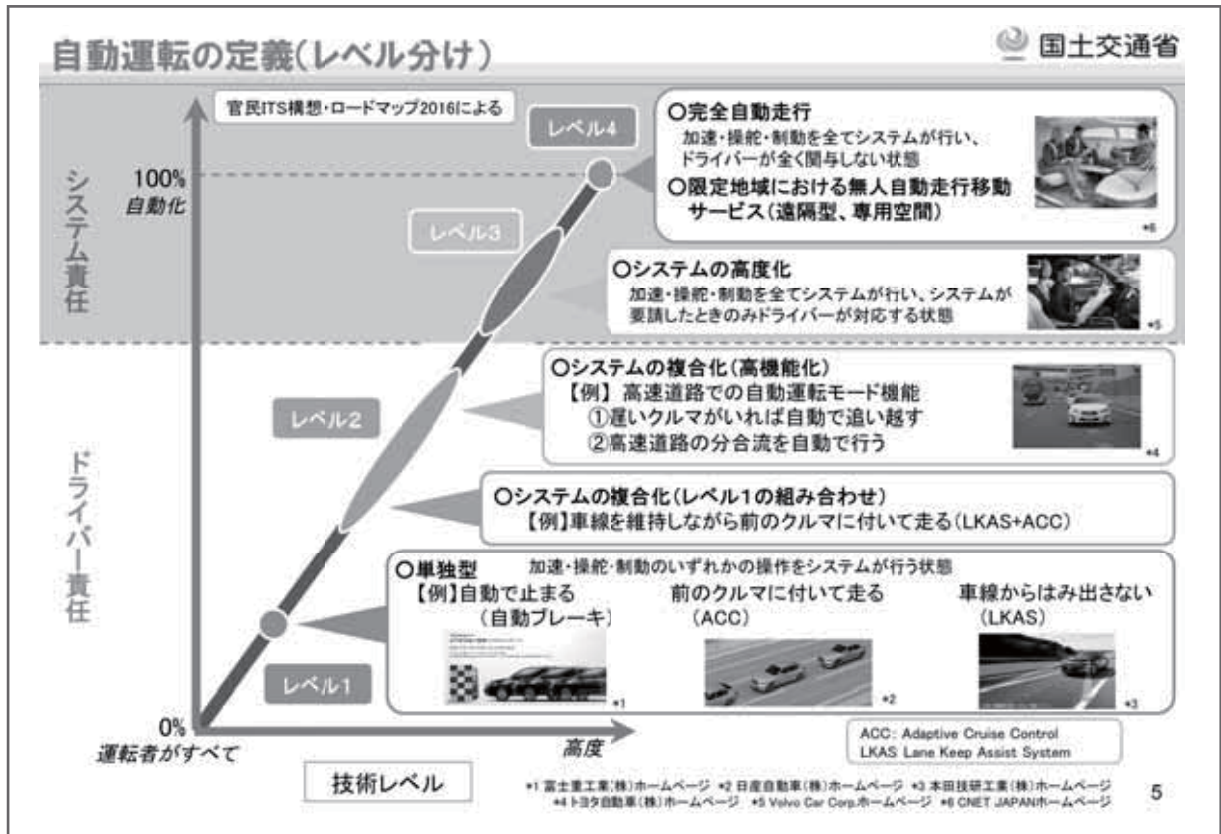


自動車が日常の足として使われている地域での具体的な実験となりました。モニターの皆様からは、

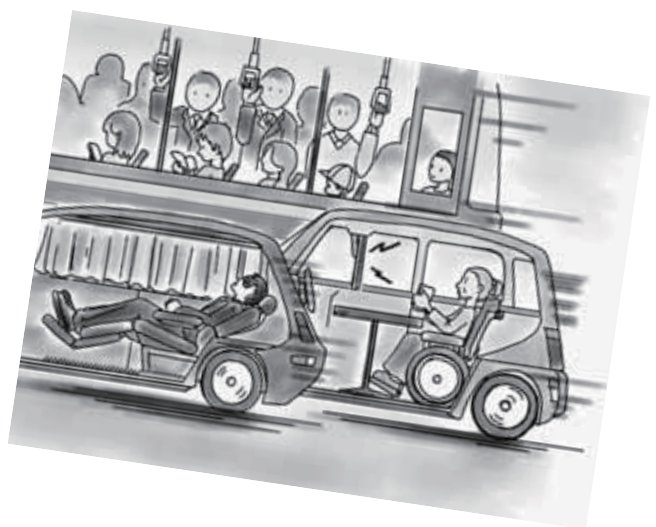
『自ら運転しなくても、気軽に使える交通サービスの実現に期待したい』と応援されている。また、自動運転は想像よりもスムーズで、違和感もなく安心との声も出ている。

そもそも「ロボットタクシー」は、自動運転車両を利用した新しい日本の交通サービスとして、過疎化や高齢化の進む地域を中心に、移動が不便な人びとにとっての新たな交通手段として構想されたもの。病院や介護施設への巡回や、廃線になったバスや電車の代わりとして、また、外国人観光客が言語に悩まず利用できる移動手段など、地方創生、都市の国際競争力強化への貢献といった点からも注目されている。また、交通手段としてだけでなく、運輸やショッピングサービスといった、さまざまなジャンルとの連携も期待されており、自動運転ならではの低コストが、大きな可能性を生み出そうとしている。

自動運転システムが「レベル4」まで達すれば、完全自動運転ということになる。現在、



日本で実用販売化されている自動車はせいぜい「レベル2」程度であるが、未熟な部分も多い。東京オリンピックまでに「レベル4」という話もあるが、システムだけでなく法整備やモラル等の問題もクリアされなければならない。



さちこ
がゆく!

第8回

ええとこみ〜つけたっ!

手話サークル つばさ

こんにちわ



今回は「手話サークル つばさ」さんにおじゃましました。
守山在住の中野佐代子さんがメンバーで、数年前のサークルの忘年会に私も同席させてもらったのが初めての出会いでした。

手話で会話されているのを見てもちんぷんかんぷん。

コミュニケーションの70パーセントは表情で伝わると言われているのに、何でもない顔で手話をされるとこちらの想像力をフルに使っても場の雰囲気すらつかめませんでした。

聞こえない方はそんな置いてきぼりな状況が日常なのでしょうか。

中野さんが通訳をしてくださり、メンバーの方も積極的に伝えようとしてくださったのがとてもうれしかったです。

じゅぷの登録ヘルパーの学生にも手話サークル所属の人もいて、年に数回手話を見るのですが、そのたびに手話ができたらもっと多くの人と知り合いになれるな〜と思ってました。つばささんの活動は定例の交流会と季節毎にイベントもあるそうです。

今回は毎週火曜日、草津サンサンホールで19時〜21時に行われる交流会に行ってきました。毎回担当の司会者がメニューを決められるそうで、この日のテーマは「数」「今年の目標」で皆さん手話で話されていました。

手話を学びつつ、楽しみつつ、交流しつつでした。

年齢も、手話のレベルも関係なく誰でも参加できるそうなので、興味のある方、火曜の夜はサンサンホールへ!

詳しく知りたい方も「つばさ」さんにつながますので、気軽に声をかけてください。

よろしくお願ひします



ふじたん家のあれこれ

最近、自宅でパンを作ってます。ホームベーカリーがあれば簡単に作れるようですが機械が無くても作ることができるので気軽に挑戦できますよ♪

藤田流のパンつくりをまとめてみました。

良ければてごねパン仲間になってください（^^）

材料：

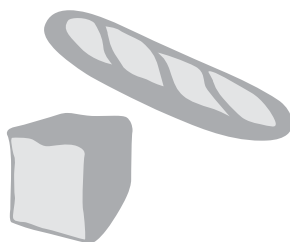
強力粉100g

バターまたはマーガリン 小さじ1

砂糖 大さじ1

ドライイースト 小さじ1

牛乳 70cc



- ① ボールに牛乳、バター、砂糖、ドライイーストを入れてレンジで20秒くらい温める（人肌ぐらいの温度）
- ② 強力粉を入れスプーンでまとまるまで混ぜる。
- ③ ボールの中で手で捏ねる（1分も捏ねれば十分）
- ④ ボールにラップをして発酵させる。2倍の大きさが目安（乾燥しないように！）冬場はあったかいところにおいてください。1時間くらいかかるので忍耐強く待ってください（^^）
- ⑤ 包丁で4等分に切り、丸める
- ⑥ パン生地をクッキングシートを敷いたオーブンのトレイに乗せてラップをかけるそのまま30分置いておく
- ⑦ オーブンを200℃で予熱しておく
- ⑧ 200℃で15分焼く（オーブンによって焼け具合が変わるので茶色く焼けるまで焼いてください）

慣れてきたらウィンナーを挟んだり、サツマイモを入れたり、形を変えてみたり、いろいろ試すと面白いですよ（^^）♪



じゅぶ川(せん)のコーナー

まずは今回のお題は「夢」です
みなさんの初夢の話や、将来の夢・来年の夢など、
ぜひ一句詠んでみてください♪

初夢は一富士二鷹サンラータン

赤い彗星の鉄郎

(編)(笑)(笑) 惜しいです！あと少しで茄子
だったのに・・・
いや、サンラータンでも私の中では、
良しとしたいです！

声に出し手帳に書けば夢叶う

じゅぶの母

(編)なるほど！やっぱり思っているだけで
はだめですよ〜これからはまず声に
だそ〜

何のその自分で夢をつかむんじやい

紬ママ

(編)すごく強くて、たくましいですね〜紬ママさ
んならどんな困難でも乗り越えて夢を手
に入られそうですね！一年の始まりにぴっ
たりな詩ですね〜

オペ室で夢から醒めたら生きていた

じゅぶの母

(編)すごい体験をされたんですね〜
生きてることはすばらしい！

手をつなぎむすめと歩く夢を見る

紬ママ

(編)なんだかこころがぽかぽか暖かくなる
詩ですね〜

夢の中本当になるの正夢は

すきやき

(編)なると思えます！その夢を強く思っ
ていれば・・・どんな夢なんでしょう？

ぽかぽかのお日さまのしたゆめのなか

どんぐりこ

(編)なんだか、ほっとする詩ですね〜
心が温かくなってきました。

3人のこどもと犬猫夢見てる

とりさん

(編)温かい家族なんでしょうね〜
犬ちゃんも猫ちゃんもみんな幸せなん
だらうなあ。

生きてやる！

生き抜いてやる！生きてやる！

紬ママ

(編)生きることってとつてもパワーのいることで、
この詩ぐらい強い気持ちがないと色んな事
にやられてしまいそうですね〜

今回も沢山の投稿を頂きました。ありがと
うございます！
見るだけで勇気が湧いてくるような川柳か
ら、どこかほっこりする川柳まで、
にやにやしながら見させてもらいました♪
今年も一年色んな夢を持ちながら頑張っ
ていきましょう！

(谷田・藤原か)

新人スタッフ



～自己紹介～

藤原香代子

(ふじわらかよこ)

はじめまして、9月から入社しました藤原香代子（ふじわらかよこ）です。

夫・子ども3人の5人家族です。子どもは11歳(男)・8歳(女)・4歳(男)

で家に帰ると泣いたり、笑ったり、けんかしたりで・・・毎日大騒ぎです。

趣味はスポーツ観戦&すること。私はバレーボールを小学校からしていて、

今も週に1～2回しています。一番のストレス発散です！子どもがサッカー

・バドミントンをしているので土日には良く見に行きます。

買い物も大好きで、靴・かばん・見てるだけでも1日回っていられます。

まだまだ分からない事ばかりですが、色々教わりながら頑張りたいと思っ

ています。なかなかお会い出来ない方も多いかもかもしれませんが、会ったと

ときには是非声を掛けていただけると嬉しいです。これからもよろしくお願

い致します。

つどい処

ばばるで

じゅぷの2階でみんなが集える
交流サロンをやっています。

開催日程

第2木曜日 16:00～21:00

第4土曜日 10:00～16:00



ゆったりしたい人、おしゃべりしたい人
音楽好きの人、だれでもお気軽にどうぞ！

あしがき



(阿部正之)

現在、格安スマホを検討中!! おそらく毎月の維持費が¥2000ぐらいになりそう。ただ格安スマホは近くにショップがないので何かあったとき心配 (-.-;)

最近、マラソンとか、トライアスロンとか、シクロクロス(泥んこ自転車レース)とか、トレイルランニング(山道走る)とか、キツイ競技にばかり興味がわきます。でもキツイ言葉には弱いので…と一応伝えておきます。



(染井将仁)

昨年はアイドルのコンサートに武道館、ゆずのライブに東京ドームといろいろ見に行った年でした。また今年もいろいろ行けるといいなあ。ただいつも一人っきりで見に行ってます(泣)



(北川 学)

昨年の目標は“1年かけて体を健康に戻す”でしたが、達成率60%くらいかな。今年も運動習慣とお医者様と上手に付き合っ、ちょっといい手帳も買ったので書き込みながら、いい風が変わっていきたくと思っています。

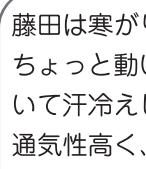


(目片真弓)



(木村佐智子)

机にかかるたがあるんです。心ある方からのプレゼントです☆
なかなか、てか、全然覚わらないんです。一緒にやりませんか?



(藤田裕也)

藤田は寒がり、すぐ厚着をしますがちょっと動いたり屋内に入ると汗を掻いて汗冷えします。
通気性高く、暖かい機能的な服装があれば教えてください。



(藤田裕也)

2017年の目標は、「幸せのハードルをさげる」です。
日々生活を送る中での、小さな幸せが当たり前を感じてしまい、全ての存在・出来事に、感謝の気持ちが薄れてしまわないように。
幸せのハードルのついでに肝機能数値もさがりますように。



(藤原 光)

11月に待望の娘が誕生しました。むずがって泣いている姿も、頑張ってミルクを飲んでいる姿も、きばってウンチをしている姿さえも、すべてが愛しく思えます。娘の成長とともに、自分も父親として、ヘルパーとしても成長していけたらと思います。



(中下和生)



(大幡彩美)

先日、大人の世界を体験してきました。そう! ジャズバーです!(?) すぐ近くで奏でられる音楽と、その時の雰囲気合わせた曲! めっちゃかっこよかったです! ご一緒してくれる方募集中!!

実家の愛媛に帰ってきました! 今まで家族全員16歳だと思っていた家のわんちゃんが、無くしていた健康手帳を発見し、15歳であることが分かりました(笑) もう3年くらい間違えてしまっていました。驚きです。
れっくごめんね(T_T)



(谷田侑衣菜)

今日訪問した車椅子利用の独居の方の自宅には至る所にマジックハンドが。10数年前に、作業所の同僚の知的障害のメンバーが旅行土産におもちゃのマジックハンドを買ってきてくれて、以来、便利で手放せなくなったとか。一緒に仕事をする中で彼なりに考え買ってきてくれたマジックハンド。共に生き働くという事を感じられる物です。



(前田雅文)



facebookへは、こちらのQRコードからアクセスしてください。



ホームページへは、こちらのQRコードからアクセスしてください。

